

様式第2号(第2条関係)

令和5年10月5日

美作市議会議員 山本 雅彦 様

審査請求者

美作市議会議員

守藤 功

美作市議会議員

金谷のり子

美作市議会議員

和田 広宣

(議員定数の8分の1以上の者)

審査請求書

美作市議会議員政治倫理条例第5条の規定に基づき、次のとおり審査を請求します。

記

1 審査対象議員名

鈴木悦子 議員

2 違反(疑義)の事由

美作市議会議員政治倫理条例第2条第1項第1号に該当する。

3 違反(疑義)の内容

鈴木悦子議員は、議長選挙を控えた令和5年3月17日に、議会正副議長室において、市議4人に対して、議長選で自分に投票することを依頼する趣旨で現金20万円の賄賂を渡そうとしたとして、略式起訴され、100万円の罰金刑を受けた。

このことは、美作市議会議員政治倫理条例第2条第1項第1号に抵触し、議会の品位を著しく損なう恐れがあると思われるため、審査を請求する。

4 添付書類

令和5年10月4日(水) 山陽新聞朝刊27面

に期待を寄せた。
広島県の湯崎英彦知事は協議会

浴

JR側の再構築協議会の設置を請うけ、報道陣
に対応を話す伊原不知事

(南原久人、久万真毅)

同一の3容疑者。警視庁は「いずれも1月1

美作市議 贈賄申し込み

罰金100万円

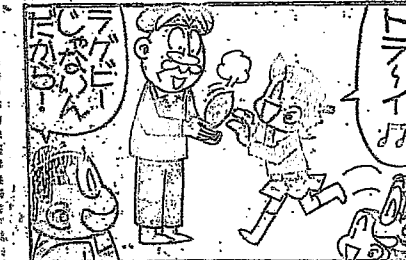
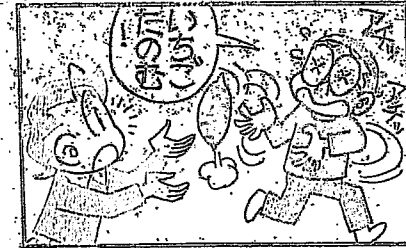
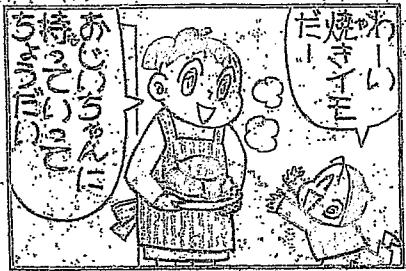
議長再選
狙ったか

4市議に計20万円

4月の美作市議会議員選挙を巡り、自分に投票してもらったため他の市議4人に現金計20万円の賄賂を渡そうとしたとして、贈賄申し込み罪で鈴木悦子市議(74)＝美作市中町＝が略式起訴され、100万円の罰金を受けていたことが3日、関係者への取材で分かった。美作市議会議長は申し合わせて任期2年。当時、鈴木氏は現職議長で、再選を狙ったとみられる。

山陽新聞社の取材に「皆で、まともな実施を推進してもらったための飲食代のつもりだったが、金銭の受け渡しは不適切だった。大変申し訳ない。信頼回復できるように頑張っていく」としている。

起訴状などでは、議長選挙(4月14日)を控えた3月17日、市議会正副議長室で市議4人に対し、自分への投票を依頼する趣旨で現金の供与を申し込んだとされ、美作市議会は定数18。議



「次女らの安全性懸念」 国側主張

2018年に死刑が執行されたオウム真理教松本智津夫元死刑囚の執行時(63)、教祖名麻原彰晃の遺骨や遺髪を引き渡すよう次女が国に求めた東京地裁での訴訟で、遺骨などについて次女側が保管の場所や方法を示しておらず、次女ら関係者の安全性に懸念があるとして国側が主張していたことが3日、分かった。国

側が請求棄却を求めた理由が訴訟記録で判明。次女側は引き渡しによる具体的な弊害が明らかではないと反論している。

遺骨などを巡っては帰属先を遺族間で争うトラブルに発展し、裁判を経て21年7月に引き渡し先を次女とする判断が最高裁で確定した経緯がある。次女側と国側が引き渡しの方法を検討

松本智津夫元死刑囚の遺骨引き渡し訴訟

遺骨や遺髪は次女に帰属すると判断

「条件に応じなければ渡さない」との態度を取り、議論しなければならぬ状態自体が不当

「社会秩序維持から到底看過し難い」として、また、オウム系死刑囚の毛髪など獲得に利用するの絶対的帰属を認めるべきだ」と主張した。

次女側は今年、書面で弊害の具不明と反論。4面では、国側と次女との交渉の経過を伝えている。

引き渡しを求め、請求棄却を求める

引き渡しを求め、請求棄却を求める

遺骨や遺髪について保管



同年11月の国側の答弁書は次女側との面談などを通じ、真摯な姿勢が示されなかったと指摘。元死刑囚が無差別大規模殺人行為である松本サリン事件や地下鉄サリン事件を起した点などを踏まえ「次女らの安全性確保のオウム真理教の後継団体の危険性増大」などについて懸念が解消されず、